

令和6年度八丈町立大賀郷小学校 授業改善プラン 第5学年

	教科における課題 (□)	身に付けさせたい力 (・)	課題を解決するための取組(○) 授業改善策(☆)
国語	☐ 漢字の定着 ☐ 語彙を増やし、文章表現力やコミュニケーション能力を身に付ける	・漢字を日常で読み書きする力 ・語彙力 ・文章表現力 ・コミュニケーション能力	○新出漢字は、ドリルで練習→ドリルノートで習熟→金曜日に確認テストのサイクルで習熟を図る。 ☆継続的に練習、テストを行う。 ○読書と音読の習慣化を図る。 ☆読書カードを定期的に活用する。また語彙を増やす詩や言葉カードを配布するとともに、それらを家庭学習で音読し、言葉に触れる機会を増やす。 ○辞書を活用する。 ☆授業の始めに分からない言葉を調べる時間を設ける。 ○文章で表現する機会を増やす。 ☆国語の時間に初発の感想や要約をまとめる時間を設け、自分の考えや感じたことを書く。 ☆機会あるごとに、思ったことや考えたことなどを文章で表現する活動を取り入れる。 ○朝の会でサークルトークを行う。 ☆話し合い活動や発表活動を設定し、伝え合う力の育成を図る。 ☆授業の中で、ペアやグループなどで話す・聞く活動を取り入れる。
社会	☐ 課題に対する問題意識や興味を高める。 ☐ 資料活用	・社会的事象への興味・関心 ・情報を読み取る力 ・まとめる力	○写真資料の活用や調査活動を取り入れる。 ☆児童が課題に興味をもてるように、導入、資料の内容、提示の仕方を工夫する。 ☆資料の読み取りを行い、写真やグラフ、地図から情報を読み取る練習をさせる。 ○調べ学習の際、予想や自分の考えを含めまとめていくことを繰り返す。 ☆考えたことをまとめたり、資料の提示の仕方を工夫したりする時間を設ける。
算数	☐ 計算力 ☐ 学習意欲の向上と持続 ☐ 言葉で表現する力の向上	・小数の乗法、除法分数の加法、減法を正しく行う力 ・自力、話し合いで課題を解決する力 ・間違いから学ぼうとする態度や粘り強さ ・はっきり、分かりやすく説明する力	○計算方法の理解 ☆小数点の移動の意味(10倍 100倍、1/10 1/100)、通分の意味(最小公倍数)の理解を確実にする。 ☆小数の乗法、除法の計算力を付けるために、ドリルやプリントを繰り返し取り組ませる。 ○自分で考える時間、話し合いの設定 ☆単位量あたりの大きさの単元などで、具体的な図や、線分図をかくて考えることを定着させる。 ☆線分図により求める方法を定着させる。 ☆自分のペースで学習を進められるように、自由進度学習を単元によって取り入れる。 ○考え方をノートやワークシートにまとめてから発表させ、話し合うことで算数的な考えを養う。
理科	☐ 学習意欲の向上 ☐ 自然科学に対する興味の向上 ☐ 科学的思考力の向上	・能動的な学習態度 ・観察結果から推察する力 ・思考の言語化 ・観察する力 ・考察する力	○小ユニット化授業を適宜取り入れる。 ☆基礎的な用語定着のための演習の実施。 ○課題を具体的に表記させ、理解を深める。 ☆ノートのとり方の指導を行う。 ○思考を言語化する場面を随時設定する。 ☆実験・体験活動を多く取り入れたり、実生活とのつながりを想起させたりして、自然科学に興味をもったり、身近に感じられたりするように授業を工夫する。 ☆丁寧に記述する時間を確保する。 ○自ら観察し記録したことを基に考察する。

	育成 □発表への意欲や工夫	・発表する力	☆他者の考察とのすり合わせの時間を確保する。 ○対話をしたり、発表したりする場面を多く設定する。
図工	□造形的な能力の育成 □鑑賞する力の育成	・材料や場所などの特徴をもとに発想、表現する力 ・既習の経験や技能を生かして表現する力 ・他者の創作に共感する力 ・身近な作品や美術作品を鑑賞する力	○材料や場所を様々な角度から捉える時間の設定。 ○多彩な材料を用いることで、自らの思いを効果的に表現する作品作りを行わせる。 ☆机間指導の際の言葉掛けやアドバイスを工夫する。 ○様々な技法を生かして表現できるような内容を設定する。 ☆版画、クレヨン、絵の具、墨、カラーペンなどの多様な道具、様々な材料を、表したいことに合わせて使えるようにする。 ☆自分の作品と比べながら、工夫を見付ける時間を毎単元設定する。 ○身近な作品や美術作品を鑑賞する活動を通して、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。 ☆単元の最後に必ず作品鑑賞の時間を設定する。 ☆単元の中で美術作品の表現方法やアイデアを紹介する。
音楽	□基礎基本の学力	・正しい音程やリズムで歌う力 ・自分で課題を見付けて取り組む。 ・身に付けた知識、技能を生かして音楽表現をする力	○常時活動の内容を充実させる。 ☆歌唱やリズムあそびを常時活動として取り入れ、正しい音程感とリズム感を身に付けさせる。 ☆体を動かす活動を取り入れ、音楽を体全体で感じ取れるようにする。 ○1人1台タブレット型PCを活用し、自分のペースで学習を進められるシステムを作る。 ○「自分はどう表現したいのか」という視点を持ち、音楽表現を工夫できる時間を設ける。
家庭	□家庭生活を送る上で必要な基礎的・基本的な力の育成	・被服・食物・住まいなどの、基本的な知識と技能の向上	○実践的・体験的な活動を多く取り入れる。 ☆活動の中で、当該学年で身に付けるべき知識と技能を確実に身に付けられるよう、個別指導を重点的に行う。
体育	□課題の解決に向けて互いにに関わり合い、学び合う力を伸ばす。 □めあて学習を充実させる。 □基本的な運動能力の向上。	・学び合う力 ・めあてを立て、見通しをもって取り組む力 ・基礎体力	○児童が教え合い、学び合いながら学習を進められるようにする。 ☆ペアやトリオでの学習形態を意図的に取り入れていく。 ☆チームやグループでの関わりをもてるように指導過程を工夫する。 ○学習カードや資料の充実を図る。 ☆学習カードに毎時間のめあてを書き、授業後に振り返りを行う。 ☆めあての達成に向けて、どのような手段があるのかを考えられるようにタブレットPCを活用したり、適切な言葉かけをしたりする。 ○様々な運動の場を用意し、取り組ませる。 ☆授業の中で様々な運動をする時間を設定する。 ☆体力向上月間にめあてを自分で立てて取り組ませ、体力向上を図る。
外国語	□実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識・技能の育成	・聞くこと ・話すこと(やり取り)	○指導者がゆっくりはっきりと話すことによって、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。 ☆ALTとの会話やデジタル教材などを用いて表現と結びつけることで理解を深める。 ○簡単な語句や基本的な表現を繰り返し用いて、自分の考えや気持ちを伝え合う活動を行う。 ☆日常生活に関する身近で簡単な事柄について取り上げ、自分の考えや気持ちなどを伝え合う必然性のある活動と

		・書くこと	なるべくにする。 ○アルファベットが正しく書けるように、教科書やワークシートで習熟を図る。
--	--	-------	--